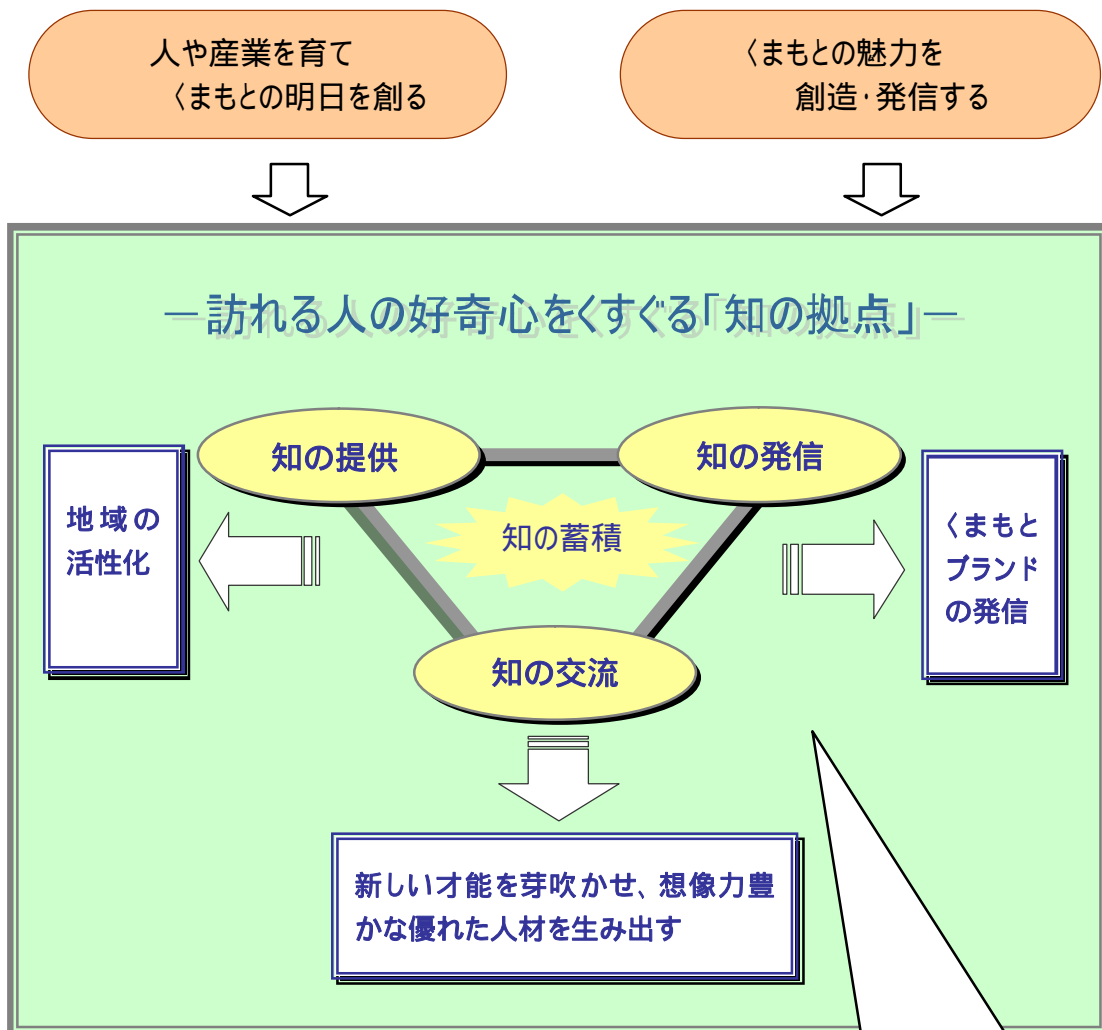


## 情報交流施設の目指す姿

県都の陸の玄関口である熊本駅前を、魅力と活力を創出する起点とするために、この公共施設は再開発ビルの他の施設や周辺施設と相互に連携しながら駅周辺の発展と熊本地域全体の活性化に寄与する情報交流施設とする。

### 整備の視点



“知”とは「よく知ること、知らせること」、「悟ること、知恵」(広辞苑)を意味します。

単に知識のみならず、先人の“知恵”を大切に受け継ぎ、活力ある熊本創りに生かします。

## 情報交流施設の機能

| 機能   | 整備方針   | 機能構成<br>主な提供サービス等  |
|------|--|--|
| 知の提供 | <p>様々な知の集積を図り、豊富な情報を提供することにより、市民をはじめ訪れる人の知的欲求を満たし、創造力を育む場を提供する。</p> <p>誰もが気軽に訪れることができるよう、楽しい空間を演出するとともに自由に学べ、自然に知識が身につくような工夫を行う。</p> | <p><b>ビジネス支援</b><br/>           起業家支援サービス<br/>           経営支援サービス<br/>           産学連携サービス<br/>           就業支援サービス</p> <p><b>地域情報の提供</b><br/>           生活情報サービス<br/>           行政情報サービス</p> <p><b>情報ライブラリー</b><br/>           利用者への高度支援サービス<br/>           閲覧・貸出サービス</p> |
| 知の発信 | <p>訪れる人、訪れたい人に熊本の持つ歴史・文化や自然環境などを紹介し、熊本の魅力、あるいは熊本らしさを再発見してもらう。</p> <p>本市のみならず熊本県内、九州圏域の観光情報を発信し、九州観光の基点としての役割を担う。</p>                 | <p><b>郷土情報の発信</b><br/>           歴史・文化の情報発信<br/>           水と緑の都の情報発信</p> <p><b>観光情報の発信</b><br/>           熊本の観光情報発信<br/>           九州圏域の情報発信</p>  |
| 知の交流 | <p>人との交流により情報や知識を交換し、知的触発を促すとともに人とのネットワークづくりを支援する。</p> <p>人々が集い、学び、情報を活用する「出会いとふれあい」の場を提供する。</p>                                     | <p><b>多目的ホール</b></p> <p><b>展示・研修</b></p> <p><b>ロビー</b></p>   |
| 知の蓄積 | <p>様々な情報（インターネットからの情報、一般図書、映像、チラシ等広告物など）を収集し、ニーズに応じて使いやすいよう整理・分類するなど、「知の蓄積」の充実を図り、「知の提供」「知の発信」「知の交流」を支援する。</p>                       |  |

## 「知の提供」

訪れた人の意欲と才能を引き出すことで、新しいアイデアを生み出し、創業や創作につながるような支援を行う。

また、誰もが気軽に訪れることができるよう、楽しい空間を演出するとともに自然に知識が身につく工夫を行う。

### ビジネス支援機能

高度情報化や技術革新など経済環境の著しい変化に対応し、地域経済の活性化を図るためには、経営者のみならずビジネスマン等の資質の向上が求められている。

そこで専門図書や統計情報、商用データベースなどを活用するとともに専門知識を有するアドバイザーを配置し的確なアドバイスを行う。

#### 起業家支援サービス

起業を志す意欲のある人に必要な情報を提供するとともにアドバイザーによる相談、助言を行う。

また、創業に必要な資金についての金融相談や起業化セミナー等交流会を開催する。

これらにより、新たなビジネスモデルを構築するノウハウの提供やネットワークづくりなど起業家支援サービスを行う。

#### ● 起業家の例

斬新なアイデアとやる気のある若者

SOHOなど新たな労働形態で子育てとの両立を目指す主婦

現役引退後、高い能力を活かし起業化を目指す団塊の世代

#### 経営支援サービス

起業家支援同様、経営改善、経営革新を行うために必要な情報の提供やアドバイザーによる相談、助言を行う。

また、経営に必要な資金についての金融相談や販路開拓、異業種・同業種の交流など総合的な経営支援サービスを行う。

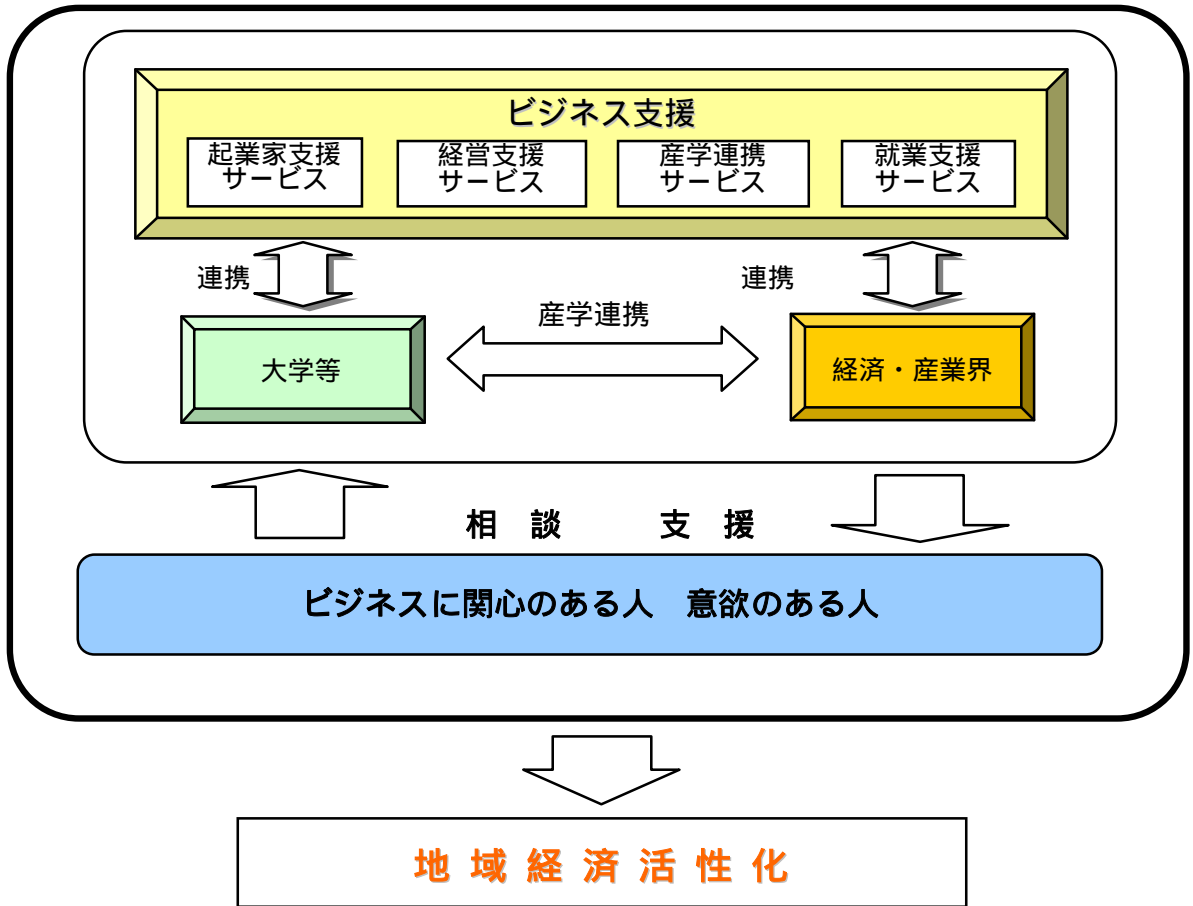
#### 産学連携サービス

企業と大学等の研究機関との共同研究・共同開発の環境づくりの支援や産学連携による技術支援、人材育成にも取り組む。

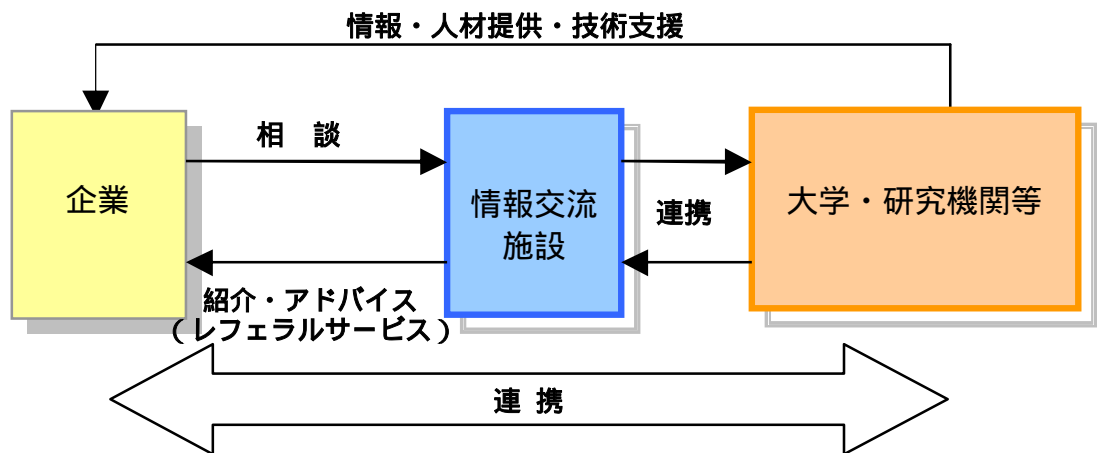
#### 就業支援サービス

就職に関する様々な情報の提供やスキルアップのための各種講習会・セミナー等を開催するとともに職業訓練や技術講習会等の情報提供を行う。

ビジネス支援のスキームイメージ



産学連携のスキームイメージ



## 地域情報の提供

---

市民はもとより、訪れる人に地域に密着した生活情報や行政情報を提供し、市民生活の利便性向上やビジネス支援にも繋げる。

### 生活情報サービス

生活に密着した各種情報（医療、福祉、法律、消費生活、まちづくり活動、催事等）を関係機関・団体等との連携のもと、一元的に収集し、迅速に提供する。

また、専門知識を有するアドバイザーを配置し、相談や助言を行う。

### 行政情報サービス

本市の行政情報はもとより、熊本都市圏、県、国等の行政機関の情報・資料を提供し、ビジネス支援や生活情報支援等に生かしていく。

## 情報ライブラリー機能（情報図書館）

---

図書のみならず、情報化による最新の情報を収集、蓄積し、データベースとして整理し、「知の蓄積」機能との有機的な連携の基に利用者の必要とする情報を提供する。

熊本市立図書館サービスネットワークの一環として機能しながら、新たなニーズに対応した図書、資料サービスの場を提供する。

### 利用者への高度支援サービス

市民が気軽に訪れ、自発的に学べる工夫を行うとともに、図書、インターネット、データベースなどあらゆる情報源を活用して、より専門的な質問・相談にも可能な限り対応できるサービスを行う。

（レファレンスサービス）

より高度な知識を必要とする場合は、図書館が扱う資料や情報の形態や範囲にとらわれることなく、関係機関との連携を通して、その分野の専門家や専門機関を紹介するサービスを行う。

（レフェラルサービス）

### オンライン・インターネットサービス

蔵書検索、予約、リクエスト、レファレンスサービスなど、本市の図書館はもとより県立図書館、大学等図書館との連携により、各図書館の蔵書をオンラインで検索できるサービスを提供する。

また、利用者開放用インターネット端末の設置や、利用者個人のパソコンの持ち込みも考慮したブースを用意する。

#### 閲覧、貸出サービス

一般図書、新聞、雑誌、専門誌、学術誌、漫画等の活字資料を中心に閲覧、貸出サービスを行う。

さらに映像、音響等の非活字資料についても閲覧、視聴サービスの充実を図る。

また、利用者がゆっくりとくつろいだ雰囲気の中で閲覧できるスペースを提供する。

#### 利用者別サービス

年齢別サービスや障害者、外国人サービスなど利用者のニーズに対応したサービスを提供する。

## 「知の発信」

訪れる人や訪れたい人に熊本のみならず九州の魅力ある歴史・文化や観光などを紹介し、九州観光の基点となるような情報発信を行う。

また、東アジアと熊本の交流史の紹介など国内のみならず東アジアを視野に入れた情報発信を行う。

### 郷土情報の発信

郷土の歴史とゆかりの人物や文化遺産、伝統など、長期現物保存する史料、デジタル化やデータベースとして活用する資料等に整理分類し、研究資料としてはもとより観光資源として活用する。

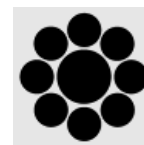
また、くまもと水ブランドのPRなど水と緑の都の情報を発信する。

#### 歴史・文化の情報発信

熊本城を築いた加藤清正や細川家ゆかりの永青文庫、剣豪宮本武蔵の足跡、近代日本の礎を築いた熊本出身の偉人たち、さらには東アジアとの交流史など、熊本の豊かな歴史文化を紹介する。

#### 熊本らしさの紹介例

< 貴重な史料で観光資源ともなりうるものの展示 >  
永青文庫、熊本市立博物館等の収蔵物のなかで  
展示可能なものあるいはレプリカ等を展示。



< 熊本独自の文化の紹介 >  
館内に肥後六花をあしらうなど、  
熊本の文化を感じさせる工夫を行う。

#### 肥 後 六 花



梅



芍薬



花菖蒲



朝顔



菊



山茶花

#### 水と緑の都の情報発信

くまもと水ブランドをPRする場として活用、熊本都市圏100万人の飲料水を賄う、質の高さと量の豊富さでは日本一の地下水を紹介する。

また、夏目漱石に森の都と言わしめた豊かな緑など、他の大都市にはない自然環境を紹介する。

## 観光情報の発信

熊本市を中心とした観光情報をデータベース化するとともに九州圏域の市町村、各種観光関係団体、観光事業者等との連携の下、観光情報収集・発信に係わるネットワークの拠点として整備する。

### 熊本の観光情報発信

熊本城や水前寺公園など観光地の紹介はもとより、熊本の伝統工芸品や農産物をはじめとしたお土産やグルメ、及びお城まつりや火の国まつりなど各種のまつりやイベントなどの情報発信を行うとともに、これらにかかわる施設や交通アクセス、宿泊施設等の情報提供を行う。

### 九州圏域の観光情報発信

熊本市内の観光情報のほか、熊本都市圏や熊本県内、さらには福岡、佐賀、鹿児島などの九州縦貫ルート並びに阿蘇や天草、大分、宮崎、長崎などの九州横断ルートの観光情報を提供する。

#### ● 観光情報の例

各地の名水、温泉、名城、焼酎、まつり、特産品や“食”の情報

### 観光案内人の配置

案内カウンターには観光客の個別のニーズに応えられるよう案内人を配置する。

### ITを活用した観光情報発信

観光情報ネットワークや観光情報検索装置を利用し、訪れた人が自ら観光情報を検索できる機能を整備する。

#### ● 主な情報発信機能の例

##### < 観光情報ネットワーク機能 >

満遊くまもと（観光ホームページ）を中心に観光情報を発信する。

##### < 観光情報検索機能 >

来館者自らが端末機器を操作して、観光情報を検索できる観光情報検索装置や観光地検索マップ、観光ビデオコーナーを設置



## 「知の交流」

多様な人々の「出会いとふれあい」の場として、憩い、安らげる空間を演出するとともに、様々な交流が行える場を提供する。

### 多目的ホール機能

ホールは利用目的が広く、様々な用途に対応できる多目的ホールを設置する。学術交流会やシンポジウム、講演会、コンサート、さらに文化、伝統芸能、音楽等の発表会など、交流の場として、ホールの利用サービスを行う。

#### その他の利用例

- ・各種大会（九州大会等） ・経営支援セミナー
- ・スキルアップ研修会 ・IT講習会 ・就職相談会
- ・展示会 ・交流会 ・映写会 ・演劇
- ・製品発表会 ・ファッションショー ・パーティ  
など

### 展示・研修機能

市民の芸術・文化活動や研究の成果を発表する場として展示スペースや研修室を設置し、利用者による情報発信の支援を行う。

また、市民の生涯学習に対するニーズに対応した企画を定期的に行い、学習の機会を提供する。

### ロビー機能

訪れる人が気軽に憩える場や施設利用の合間の休憩や人と人との出会いや交流の場を提供する。

## 「知の蓄積」

「知の提供」「知の発信」「知の交流」機能を効果的に発揮させるためには、様々な情報を収集し、これをニーズに応じて使いやすいよう、整理・分類することが重要となる。

そこで、下記の情報収集整理方針に基づき「知の蓄積」を図る。

### ◆ 情報収集方針

訪れる人から親しまれ、愛される施設として、情報ニーズを把握しながら幅広い分野の情報を収集する。

一般図書などの活字メディアのほか、インターネットや映像等の電子メディア、チラシ等の広告物など、あらゆる媒体を活用し、様々な情報を収集する。

ビジネス支援や生涯学習支援及び観光のほか、郷土の文化の保存、継承、発展に資する資料を収集する。

まちづくり活動やボランティア活動、個店情報など地域固有の情報の収集（市民や事業者の持込資料を含む）を行う。

### ◆ 情報整理方針

利用者のニーズに迅速かつ的確に対応できるよう、利用者の視点に立った整理・分類を行い、利用しやすいデータベースや検索システムの構築を図る。

## 情報交流施設の基本構成

### ◆ 情報交流施設の規模

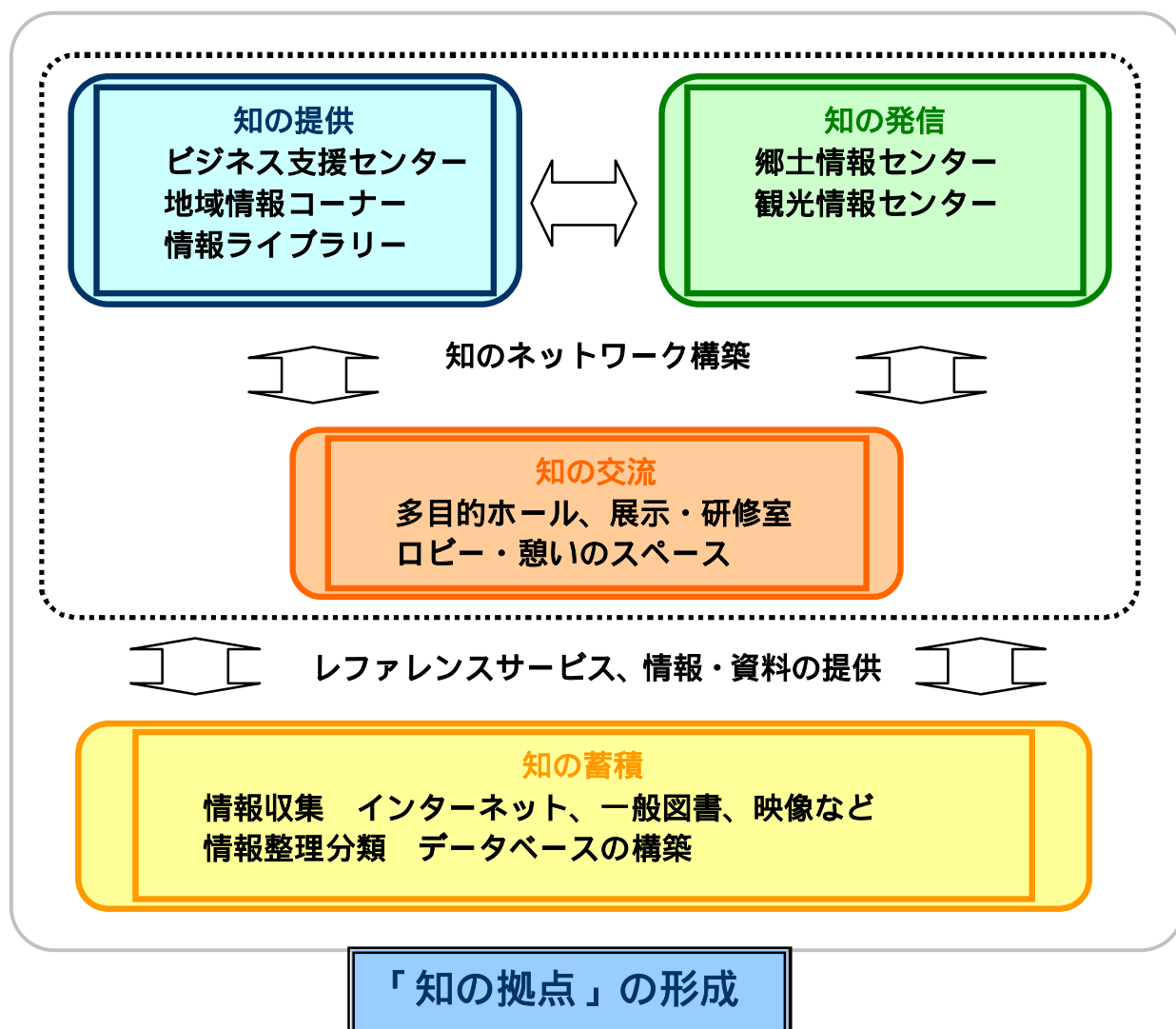
約 8,000 m<sup>2</sup> (専用部分)

### ◆ 施設の基本構成

施設の構成については、「知の提供」「知の発信」「知の交流」機能及び「知の蓄積」機能のほか施設の管理運営に必要な施設を整備する。

また、整備にあたってはハードとソフトの両面からユニバーサルデザインを取り入れ、高齢者や障害者、外国人などを含めすべての人が利用しやすい環境を整える。

#### 施設構成イメージ

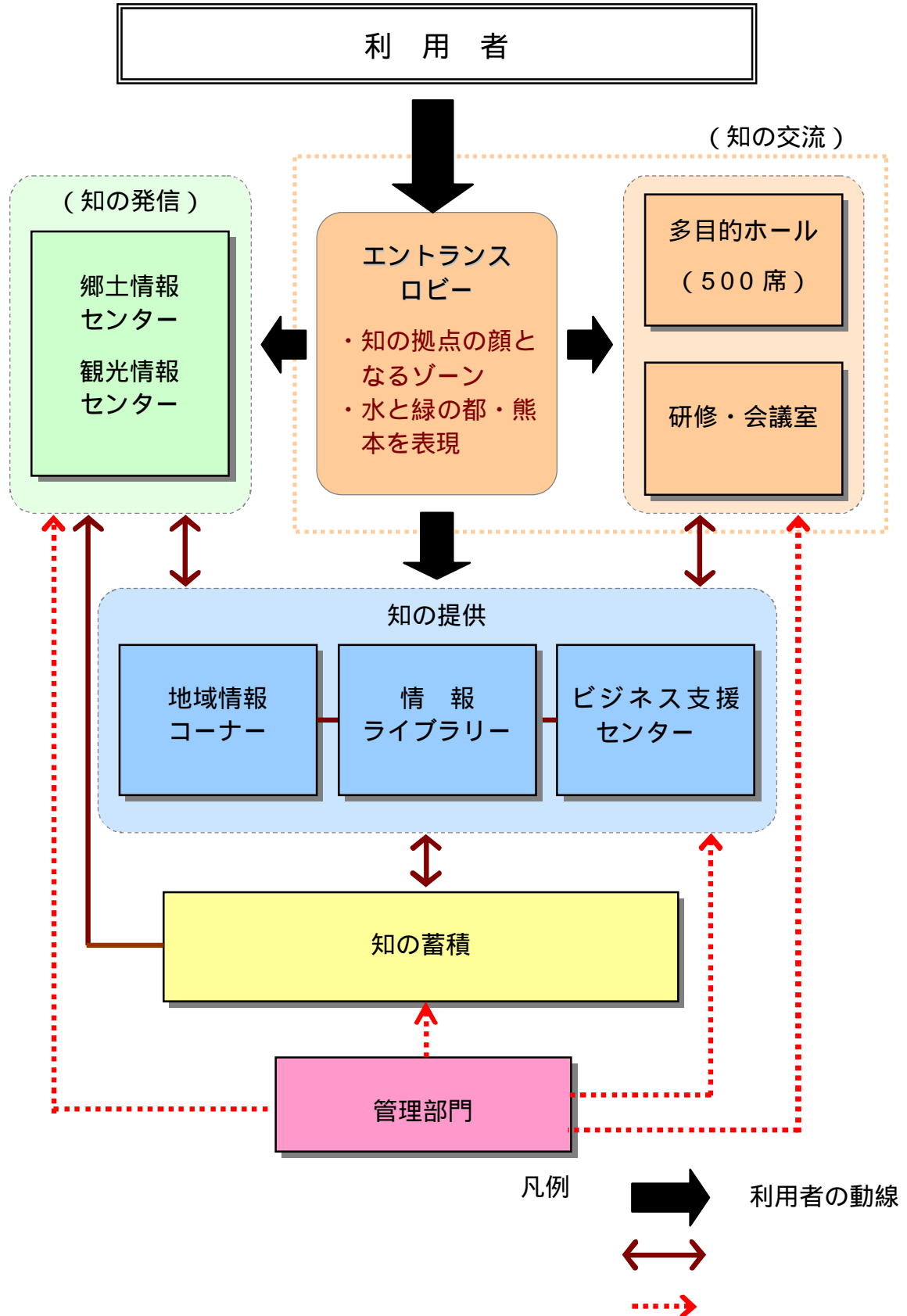


## 施設面積（案）

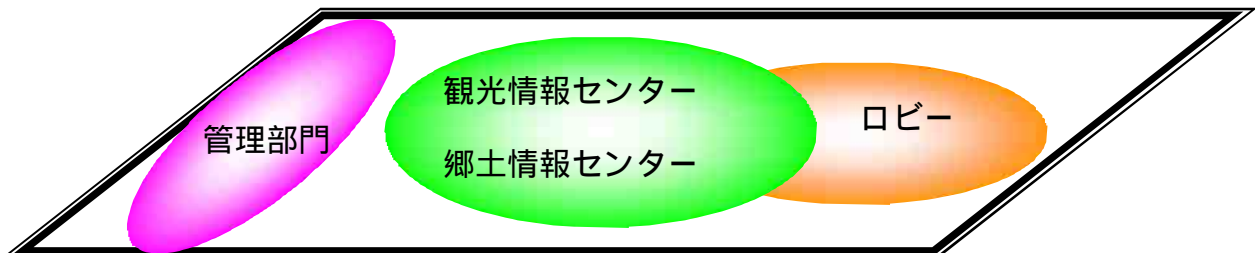
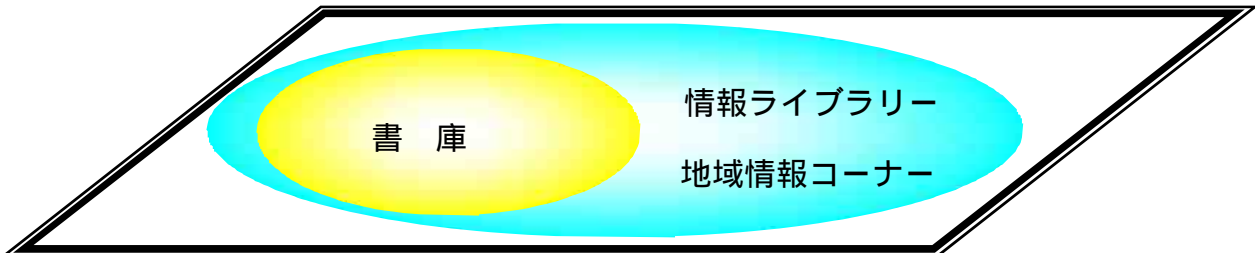
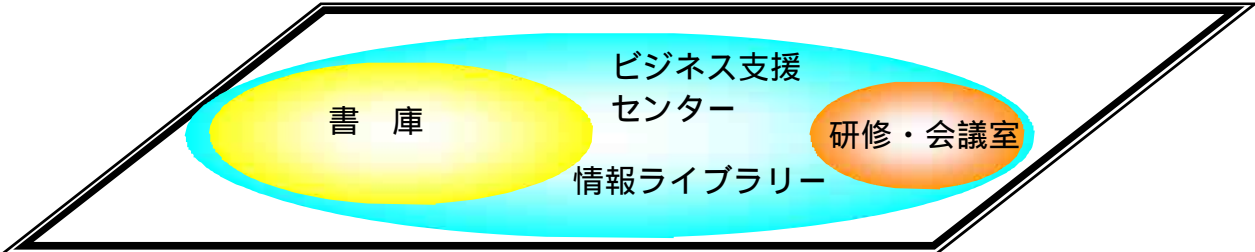
| 機能   | 主な施設及びサービス等  | 面積                      |
|------|--|-------------------------|
| 知の提供 | <p>ビジネス支援センター<br/>起業者支援サービス<br/>経営支援サービス<br/>産学連携サービス<br/>就業支援サービス</p> <p>地域情報コーナー<br/>生活情報サービス<br/>行政情報サービス</p> <p>情報ライブラリー<br/>利用者への高度支援サービス<br/>閲覧・貸出サービス</p> | 1,900 m <sup>2</sup> 程度 |
| 知の発信 | <p>郷土情報センター<br/>歴史・文化の情報発信<br/>水と緑の都の情報発信</p> <p>観光情報センター<br/>熊本の観光情報発信<br/>九州圏域の情報発信</p>  | 700 m <sup>2</sup> 程度   |
| 知の交流 | <p>多目的ホール（500席、可動式）<br/>研修・会議室<br/>ロビー</p>   | 2,800 m <sup>2</sup> 程度 |
| 知の蓄積 | <p>書庫（開架）<br/>書庫（閉架）</p>   | 2,000 m <sup>2</sup> 程度 |
| 管理部門 | 事務室、倉庫、機械室等  | 600 m <sup>2</sup> 程度   |
| 専用面積 |  | 8,000 m <sup>2</sup> 程度 |
| 共用面積 | エントランス、階段等   | 1,500 m <sup>2</sup> 程度 |
| 合計   |  | 9,500 m <sup>2</sup> 程度 |

各施設の面積については、現時点での想定であり、今後の事業提案競技及び詳細設計の段階において若干の変更がある。

## エリア配置動線計画（案）

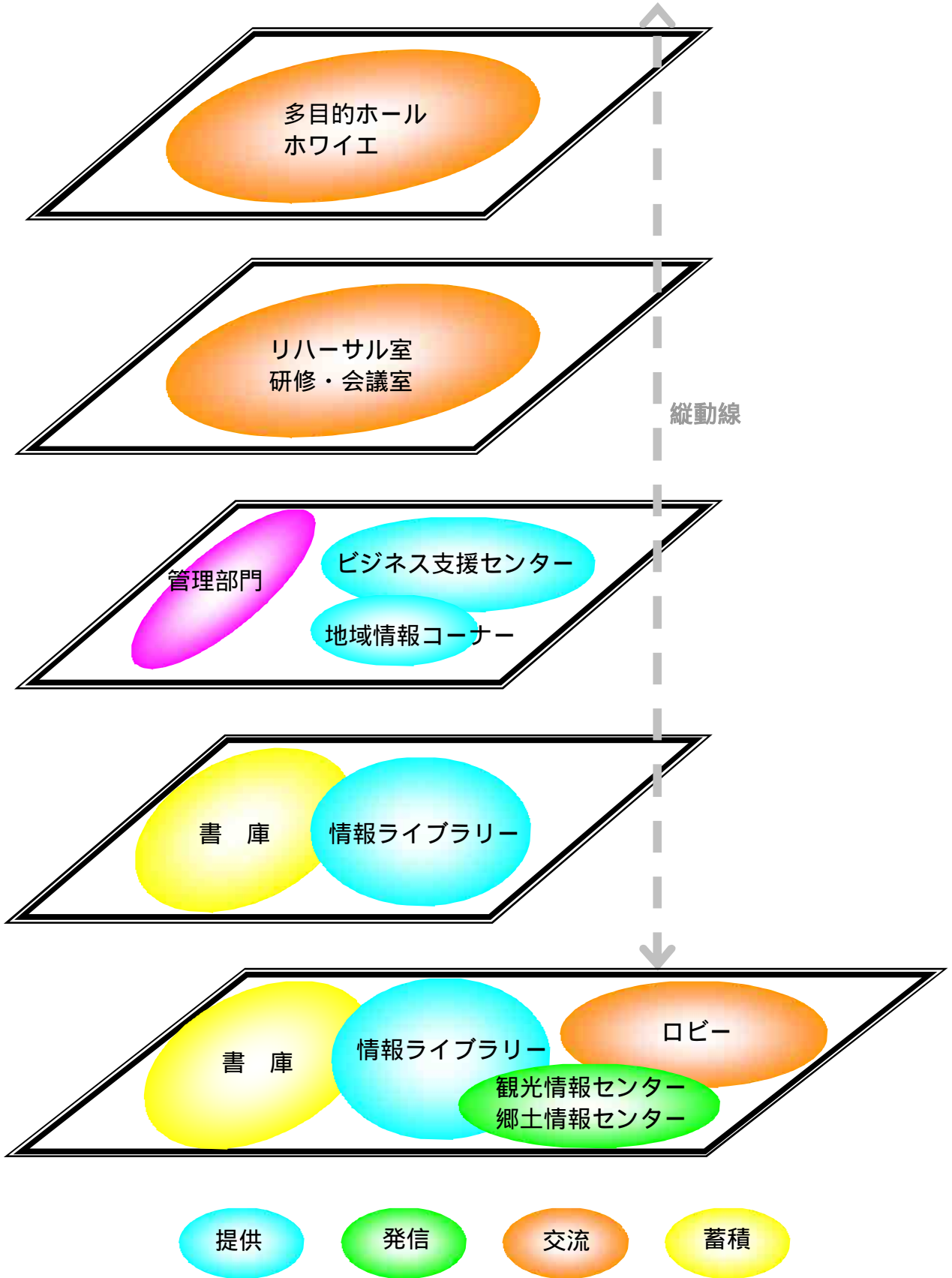


フロア構成（参考）



フロア構成（参考）

参考例 - 2



## 情報交流施設の運営

### ◆ 運営方針

情報交流施設の運営にあたっては、訪れる人の好奇心をくすぐる「知の拠点」として、「知の提供」「知の発信」「知の交流」「知の蓄積」それぞれの機能を有機的に連携させ、利用者の視点に立ったサービスを提供するものとする。

具体的には情報交流施設が

子どもから大人まで気軽に楽しみ、くつろげる場

起業家やビジネスに関心のある人がイノベーションやスキルアップに取り組める場

創作活動を行っている人が何かアイデアやヒントをつかむ場

市民が日常生活で直面する様々な課題の解決の糸口を見つける場

観光客が九州・熊本の魅力を発見し、好みに合った観光を見つける場

となり、

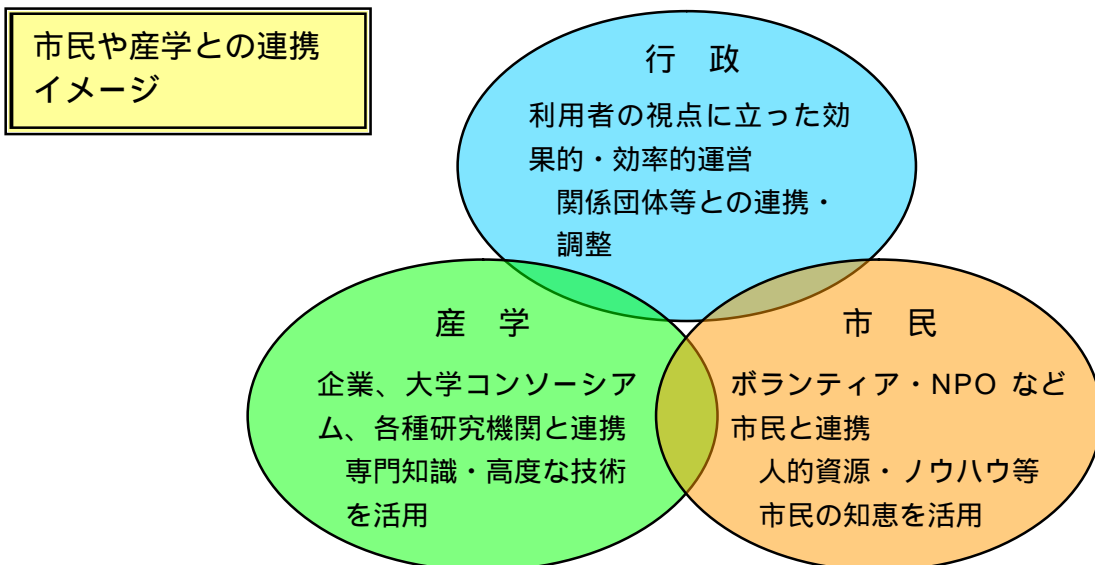
「人や産業を育て、くまもとの明日を創る」人づくりの拠点

「くまもとの魅力を創造・発信し、人々が交流する」賑わいの拠点

として駅周辺全体の発展と熊本地域全体の活性化に寄与する施設となることを目指す。

### 効果的な運営

企業や大学コンソーシアム、各種研究機関などとの連携により、専門知識、高度な技術の活用を図るとともに民間ボランティア・NPO など市民の知恵を活かし、効果的な運営を行う。

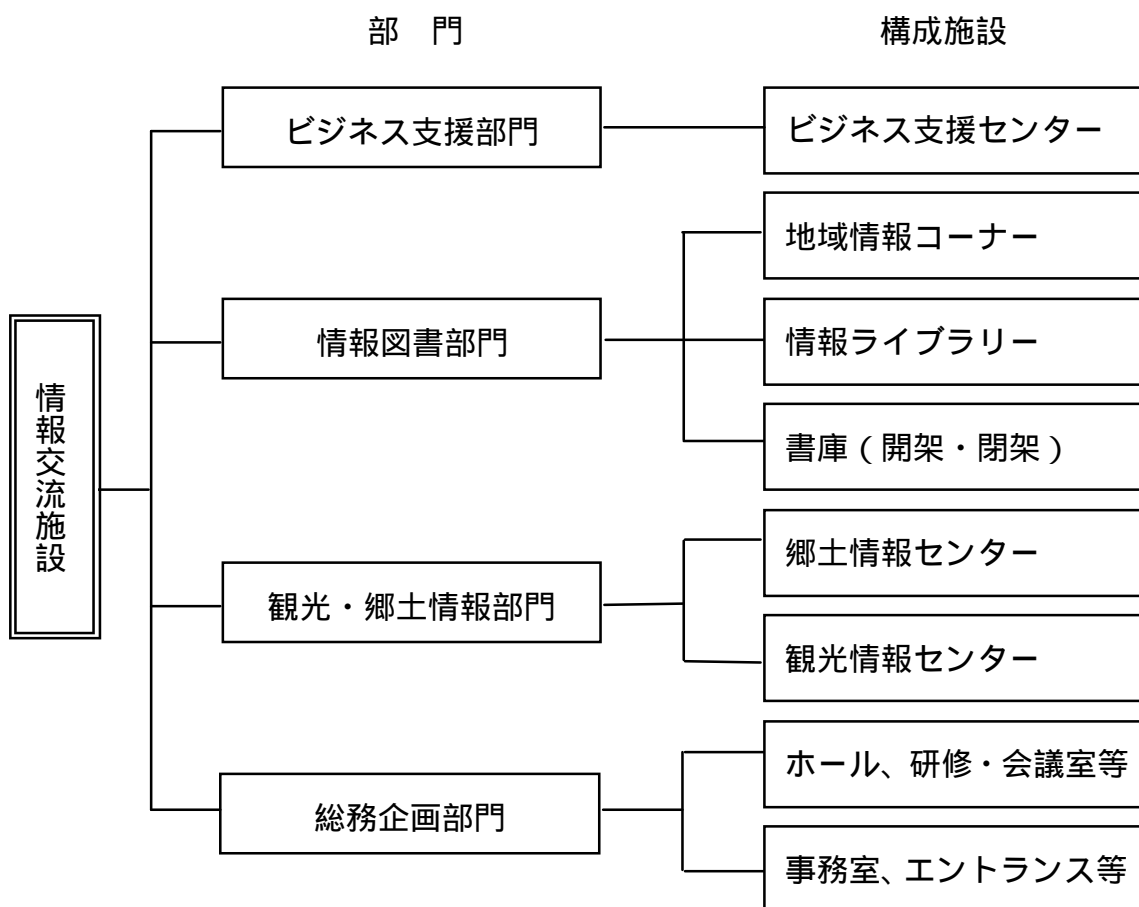




## 効率的な運営

情報交流施設の各構成施設を下図のとおり四つの部門に分けるとともに民間活力を最大限導入し、効率的・機能的な運営を行う。

### 運営体制イメージ



## ◆ 運営に関するスケジュール

今後、開設までに必要となる具体的な実施事業や運営体制、予算、条例等について、下記スケジュール（案）のとおり検討を進め、適宜、計画案の策定を行うなど準備に万全を期する。

### スケジュール（案）

|      | 建設<br>スケジュール | 検討項目                                   |      |    |    | その他                           |
|------|--------------|--|------|----|----|-------------------------------|
|      |              | 事業                                     | 運営体制 | 予算 | 条例 |                               |
| 18年度 | 基本計画         | 基本機能（案）の策定<br>施設構成（案）の策定<br>運営方針（案）の策定 |      |    |    | ・熊本駅東 A 地区<br>公共施設企画プロジェクト設置  |
| 19年度 | 基本設計         | 実施事業計画（案）の検討<br>運営体制（案）の検討             |      |    |    | ・情報交流施設<br>企画プロジェクト<br>（名称変更） |
| 20年度 | 実施設計         | 実施事業計画（案）の策定<br>運営体制（案）の策定             |      |    |    | ・情報交流施設<br>開設準備室設置            |
| 21年度 | 建設着手         | 予算（案）の検討<br>設置条例（案）の検討                 |      |    |    |                               |
| 22年度 | 建設完了         | 予算（案）の策定<br>設置条例（案）の策定<br>開設準備（リハーサル）  |      |    |    |                               |
| 23年度 | 開 設          |  |      |    |    |                               |